シンガポール研修レポート

経済学部経済学科　本島有紗

留学期間：2018 年 8 月 26 日〜2018 年 9 月 9 日

シンガポール研修に参加した理由

私は大学生になったら留学に行く！という目標を持っていました。それまで海外旅行にすら行ったことがなく、最初の留学から長期に挑戦するのは大変そうだと思っていた時に、シンガポール研修という 2 週間の留学があることを知り、参加しようと思ったのがきっかけです。

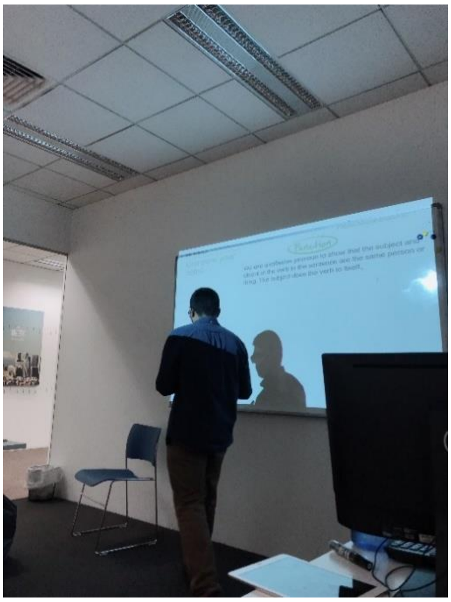
留学までの準備について

留学までに私がしたことは、ワールドカフェに行きスタッフの方と英会話の練習をしたり、留学の体験談などをきたり、留学につながることに取り組んでいました。また、留学に行くときに必要なものなどを調べて買いました。他には、シンガポールで有名な食べ物や、観光地の情報収集をしていました。特に、シンガポールでのマナーなどについては詳しく調べました。

留学先の語学学校について

EF という語学学校に通っていました。留学に行く前にプレースメントテストがあり、その

テストの結果によって、クラス分けされます。夏休みに留学したこともあり、日本人がとてもたくさんいました。私たちのように、短期できている人や長期できている人などが色々いて、1週間ごとにクラスがかわったので新たな友達などができやすかったです。



授業について

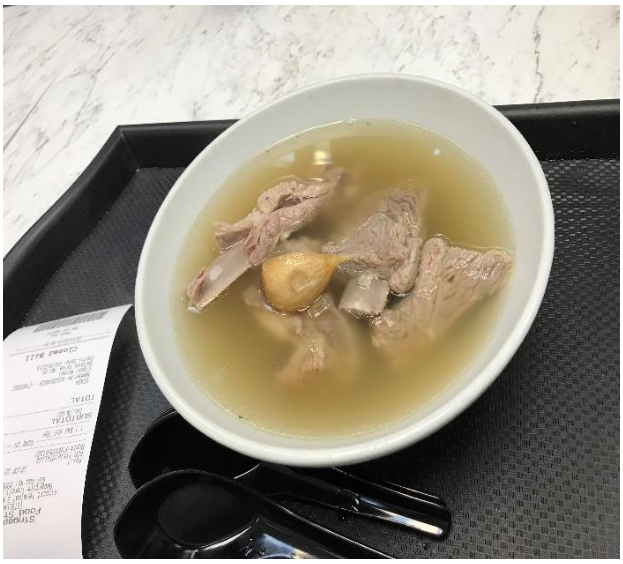
授業は月曜日から金曜日まであり、午前中に授業があった場合午後は休みで、午後に授業があった場合は午前中が休みといった感じでした。クラスによって、午前中に授業があるか、午後から授業かは違っていました。授業内容はすべて英語で、グループワークやゲームをすることが多かったです。先生によって授業のやり方が全然違いました。

寮について

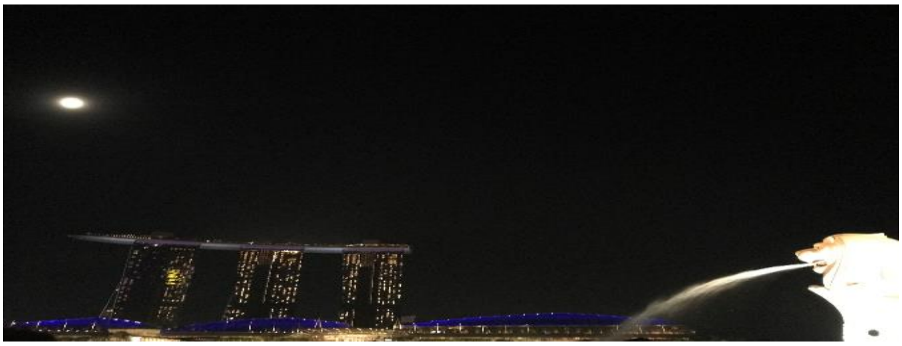
寮は専用のカードキーがないと建物の敷地に入ることもできないし、寮の入り口にも入ることができないくらいセキュリティーはしっかりしていました。フロアごとに、お風呂とトイレがついていました。また、朝ご飯と夜ご飯がついている寮だったのでとても便利でした。A セットか B セットかを毎回選ぶことができました。

授業がない時の生活について

授業が終わった後は、シンガポールの食べ物やお土産などを買いに行くなどしていました。学校の周りには、飲食店が多かったです。左下の写真は、カヤトーストという食べ物で、カヤジャムというシンガポールでは有名なジャムを使ったトーストです。癖になる味でとても美味しかったです。右下の写真は、バクテーというシンガポールのソウルフードです。香辛料がきいたスープの中に、骨付きの豚肉が入っていて日本ではなかなか口にしないような味でした。



シンガポールは公共交通機関が発達していて行きたい場所にとても行きやすかったです。EZ カードという交通系 IC カードのようなカードがあり、そのカードで電車やバスに乗っていました。電車は路線ごとに色分けされていて、とても乗り換えがしやすかったです。電車の本数も多く、授業終わりにマーライオンを見に行くなど、授業があった日でも観光ができとても充実した毎日を送ることができました。休日は、セントーサ島に行き、ユニバーサルスタジオシンガポールにみんなで行き、遊びました。人がそんなにいなくてあまり待たずに乗り物に乗ることができました。



費用について

行く前に払うお金　　　　　10 万円

生活費（食費・交通費など）　約 7 万円

留学してみて感じたこと

実際に留学してみて感じたことは、最初はその国の生活に慣れるのにとても大変でした。短期の留学となると、やっと生活に慣れてきたころに帰国するといった感じになり、少し物足りないように感じました。自分の周りの人たちはものすごく熱心に英語を勉強していて、もっと勉強を頑張らないといけないと思うようになり、留学に行ったことで語学だけでなく、勉強に対する意欲など様々なことを学ぶことができました。2 週間という短い期間だけれども、自分なりに目標をもって留学生活を送ることで充実した毎日を送ることができると感じました。

留学を終えての感想

2 週間という短期の留学でしたが、語学だけでなくシンガポールの暮らしなど日本と違うところを実際に感じることができ、異文化に触れるすばらしさを感じることができました。観光目的の海外旅行にもたくさん挑戦して、異文化にたくさん触れたいと思うようになりました。母国語が通じない国で語学を学ぶことで、もっと英語をうまく話したいという気持ちが大きくなりました。一度、留学のすばらしさを感じると、次はもっと長い留学に挑戦してみたいという気持ちになります。私にとってこのシンガポール研修は、留学に対する思いが大きくなるきっかけになりとても良い経験になりました。

まとめ

少しでも留学に興味がある人は、時間のある大学生のうちにぜひ行ってほしいです。最初は不安なことだらけですが、一緒に留学している人達はみんなとってもやさしいです。ぜひ、留学に行きましょう！